

芦北町議会だより



うたせ

第47号

平成28年
11月1日発行



アトラクションで披露された“JKA芦北ジュニア新体操クラブ演技”

町民体育祭（10月10日）地域間交流スポーツグラウンド

- 9月定例議会 P2
- 平成27年度決算 P3
- 議案の審議結果 P4
- 各常任委員会報告 P5～11
- 一般質問 P12～15
- 議会のうごき・編集後記 P16



入場行進優秀賞の田浦北部地域体育協会

9月定例議会



9月定例議会は、9月5日に招集され、16日までの12日間の会期で開催しました。

上程された議案は、平成28年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算、平成27年度一般会計決算など、議案6件、承認1件、認定9件、町財政の健全化判断比率などの報告2件が上程されました。なお、決算などについては、各常任委員会に付託され、審議の結果認定することに決定しました。

第二日目には、4議員が登壇し町政全般にわたり一般質問を行いました。

また、最終日には議員発議により、「平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書」の提出が可決されました。

（議案の内容と結果は2～4ページに、常任委員会報告は5～11ページに、一般質問の内容は12～15ページに記載）

平成28年度
補正予算を可決

2億2,313万円追加

（金額は1万円未満を四捨五入）

会 計 名	補 正 額 (増額)	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計	1 億 8, 4 8 0 万円	9 9 億 4, 2 3 0 万円
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	3, 8 3 3 万円	2 3 億 8 0 3 万円
今回補正が行われなかった会計	—	4 6 億 6, 4 6 7 万円
合 計	2 億 2, 3 1 3 万円	1 6 9 億 1, 5 0 0 万円

**補正予算
の
主な事業**

◎ 一般会計

農林水産施設及び公共土木施設災害復旧費…… 5, 3 8 8 万円

◎ 介護保険事業特別会計

国庫負担金等精算償還金…………… 3, 8 3 3 万円

平成27年度 決算の状況

166億6,629万円を認定

一般会計においては、前年度と比較して歳入が3.5%、歳出は4.5%の増となったが、健全な財政運営が図られている。歳入では、町税や使用料及び手数料において増収がなされており、更に収入未済額も減少している。今後、地方交付税の縮減等により財源の確保が厳しくなることが予想されており、平成27年度に策定された芦北町総合戦略の基本目標を着実に推進し、持続的な財政基盤の構築と、更なる財政健全化を図ることが重要である。（監査委員の決算審査意見書から抜粋）

一般会計・特別会計歳入歳出決算の総括（ ）は、うち繰越分（単位：円）

会 計 名		歳入歳出予算額	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		(417,919,372) 11,103,334,372	(412,467,431) 10,693,206,328	(352,080,706) 10,158,398,651
特 別 会 計 合 計		6,827,083,000	7,016,396,044	6,507,892,976
特 別 会 計	国民健康保険事業 (事業勘定)	3,772,925,000	3,946,610,475	3,638,104,115
	国民健康保険事業 (直診勘定)	54,200,000	47,738,213	47,738,213
	介護保険事業	2,230,079,000	2,291,314,339	2,101,646,763
	簡易水道事業	84,008,000	78,433,960	70,398,884
	農業集落排水事業	224,719,000	213,943,572	213,943,572
	生活排水処理事業	59,662,000	55,887,822	55,887,822
	町有温泉事業	104,689,000	95,400,160	95,400,160
	奨学資金貸付事業	35,900,000	32,455,000	32,455,000
	後期高齢者医療事業	260,901,000	254,612,503	252,318,447
合 計		(417,919,372) 17,930,417,372	(412,467,431) 17,709,602,372	(352,080,706) 16,666,291,627

年度別財政指数の推移

(単位：%)

年 度	経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率	公債費負担比率	実質収支比率
平成25年度	85.7	0.27	4.7	13.8	7.5
平成26年度	89.6	0.27	4.4	15.0	7.9
平成27年度	89.4	0.29	4.3	14.2	7.7
判断の目安	70～80%程度	1に近く、1を超える程良い	18%未満	20%未満	3～5%程度

平成28年 第3回 芦北町議会定例会

区 分	議 案	内 容	審議結果
要請第1号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る意見書の提出に関する要請について		採 択
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて 平成28年度芦北町一般会計補正予算 (第2号)	概要等は、P2に掲載	承 認
報告第4号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		報 告
報告第5号	芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果の報告について		報 告
認定第1号	平成27年度芦北町一般会計の歳入歳出決算の認定について	概要等は、P3・P5～11に掲載	認 定
認定第2号	平成27年度芦北町国民健康保険事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第3号	平成27年度芦北町介護保険事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第4号	平成27年度芦北町簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第5号	平成27年度芦北町農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第6号	平成27年度芦北町生活排水処理事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第7号	平成27年度芦北町有温泉事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第8号	平成27年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
認定第9号	平成27年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算の認定について	〃	認 定
議案第52号	平成27年度芦北町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	概要等は、P7に掲載	原案可決 及び認定
議案第53号	平成28年度芦北町一般会計補正予算 (第3号)	概要等は、P2に掲載	原案可決
議案第54号	平成28年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第55号	芦北町職員の退職管理に関する条例の制定について	職員の退職管理に関する基準等を定める条例	〃
議案第56号	芦北町水産物直売施設条例の制定について	芦北町水産物直売施設(計石)の設置に関する条例	〃
議案第57号	工事請負契約の締結について	町道射場芦北線道路新設改良工事の契約締結	〃
発議第1号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に関する意見書案について	国の財政措置及び立法措置を求める意見書の提出	〃

総務常任委員長報告

草野 安道

一抜粋一



当委員会に付託されました認定第1号「平成27年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について」、9月5日、7日及び8日に審査を行いました。

まず、平成27年度決算状況について、一般会計の歳入決算総額は、106億9,320万6,328円で、予算に対して96・3%の決算となっており、前年度決算と比較すると3億5,789万1,849円の増となっております。

一方、歳出決算総額は、101億5,839万8,651円で、前年度比4億3,732万3,658円の増となっております。

決算額が増となった主な要因として、歳入については固定資産税、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金等の増によるものです。歳出については、普通建設事業費・物件費・扶助費等の増によるものです。

財政指標については、経常収支比率が前年度比0・2ポイント減の89・4%となり、実質公債費比率は、起債償還金の減少等により0・1ポイント減の4・3%、将来負担比率は、将来負担額がマイナスとなり数値表記されず、総合的に判断すると健全財政が保たれております。

【企画財政課】

企画財政課では、地方創生の推進を図るため「芦北町人口ビジョン」及び「芦北町総合戦略」が策定されました。また、広域的な行政連携を推進するため八代市との定住自立圏形成協定が締結されました。

事業として人材育成、地域・民間団体の支援、国際化・国際交流の推進、公共交通機関の維持・確保、地域づくりの推進、行政改革の推進等に係る各種事業が実施されております。

主な事業として、国の地域



芦北ひまわり第5学校

活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、子育て応援券交付事業が取り組み、子育て世代への生活支援と町内での消費喚起につながりました。また、合併10周年記念事業として「開運なんでも鑑定団 in 芦北」が開催され、テレビ放映等を通じて町のPRとなりました。

国際化・国際交流事業では、英国及びカンボジア派遣やハワイ島熊本同志会との交流など国際理解・国際協力の促進が図られ、カンボジアに

「芦北ひまわり第5学校」が贈呈されました。

公共交通機関の維持・確保においては、地方バス運行対策事業、ふれあいツクルバス運行事業、高速交通対策事業等が行われ、生活路線を確保するため事業者に補助金の交付が行われているほか、ふれあいツクルバス運行事業においては、新たに3路線の運行が開始され利用者の利便性の向上と利用促進が図られました。



ツクルバス新路線出発式(計石・鶴木山・女島線)

地域づくりの推進においては、移住・定住情報、ふるさと応援寄附金のポータルサイトが構築され、移住・定住の

促進と情報提供活動の充実が図られました。

【税務課】

税務課では、地籍調査管理業務、賦課業務、徴収業務ほか申告業務等が行われております。歳出については、全体で予算額1億8,045万1千円に対し、決算額1億7,063万4,963円となり執行率94・6%となりました。

地籍調査管理業務においては、地籍調査事業の結果の一部について加筆・修正業務が行われました。

賦課業務、徴収業務における町税の収納状況は、現年分調定額16億9,884万8,489円に対し、収入額16億8,372万1,858円で収納率99・11%となっております。また、滞納繰越分は、調定額8,056万2,068円に対し、収入額1,572万2,144円で収納率19・52%となっており、現年度分・滞納繰越分を合計した収納率は、平成26年度94・69%、平成27年度95・51%と年々向上しており、徴収努力の成果が見られました。

主な質疑として、旧田浦町地域の地籍調査の再調査見込みはあるかとの質疑に対し、全国的な地籍調査事業の進捗状況を見ると非常に厳しいと思われるが、熊本県国土調査推進協議会に継続して加入し、情報収集を行い採択に向けた取組を続けていくとの答弁がありました。

【議会事務局】

議会事務局では、議会費と監査委員費が執行され、ほとんど経常的な経費となっております。議会費の決算額は、1億2,876万9,783円で執行率97・4%、監査委員費の決算額は、114万770円となり、執行率は85・8%でした。

【田浦基幹支所】

田浦基幹支所では、出納・税務関係、住民異動・福祉・保険年金関係の各種届出の受付及び各種証明書の交付事務、環境衛生等の相談・連絡などの窓口業務及び庁舎・公用車の維持管理業務が行われ、住民の安全・安心な生活の確保や利便性の向上が図られております。

主な質疑として、窓口の利用状況はどうかとの質疑に対し、平成27年度に取り扱った事務処理件数は、戸籍等が7,042件、会計事務が6,953件、その他5,104件の19,099件であったとの答弁がありました。

【総務課】

総務課では、消防・防災対策、交通安全対策、防犯対策、男女共同参画の推進、職員の人材育成、区長会運営、入札・契約業務、庁舎維持管理、財産管理、選挙事務及び町の情報発信に係る各種事業が行われております。

消防・防災対策事業では、防火水槽2基が新設されたほ



耐震補強工事が完了した井牟田生涯学習センター

か積載車1台が購入されました。また、防犯灯82基の設置補助や防犯カメラが御立岬温泉センター駐車場などに5基設置されました。

広報事業においては、広報あしきたが熊本県広報コンクールの写真の部で特選を受賞しました。また、移住・定住を促進するためPR動画が制作され町内外に広く紹介されております。

庁舎維持管理事業においては、災害時の避難所となる2施設の耐震補強工事を行い避難所としての機能強化が図られました。

財産管理事業においては、



耐震補強工事が完了した女島生涯学習センター

土地建物の有効な活用促進が行われており、新たに御立岬残土処理場の太陽光発電事業に対して土地貸付が行われております。

基金管理事業においては、定期預金等より利子の高い運用を図るため額面5億円の国債を保有し、超低金利時代にもかかわらず、その分の利子として680万5,480円を得ており、適正かつ有利な運用が行われております。

主な質疑として、消防費の需用費で不用額が発生した理由はどの質疑に対し、消防分団常備品購入に伴う執行残によるものとの答弁がありました。委員から分団長会議等で要望を把握してほしいとの意見がありました。

【会計室】

会計室においては、公金の収納・支出、資産の管理運用、決算書の作成、庁舎用物品の収納及び保管に係る事務等が行われております。資産の管理運用における町預金利子の決算額は、120万4,980円であり、執行率は205・3%となりました。預金利子がかかなり多くなってい

るがどのような運用を行っているのかとの質疑があり、定期預金による運用を行い、金融機関から金利の見積もりを取り、より金利の高い金融機関への預金を行いながら一つの金融機関に偏らないような運用を行っているとの答弁がありました。

以上、当委員会に付託されました認定第1号「平成27年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について」は、慎重に審査した結果、予算議決の趣旨と目的にしたがって、適正な事業が実施されたものと判断し、全会一致で認定すべきものと決しました。

議案第55号「芦北町職員の退職管理に関する条例の制定について」

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の退職管理に関する基準を条例で定めるもので、再就職者による依頼等の規制及び任命権者への届出等について規定するものであるとの担当課長の説明を受けました。説明の後は、質疑・討論もなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設経済常任委員長報告

元山秀志

一抜粋一



当委員会に付託されました

認定第1号「平成27年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について」及び認定第4号「平成27年度芦北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」ほか3つの特別会計の決算認定についてと、議案第52号「平成27年度芦北町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」は、現地調査も含めて9月5日、8日及び9日に審査を行いました。

【建設課】

交通・情報通信ネットワークの整備では、社会資本整備総合交付金を活用した町道射場芦北線の改良をはじめ、道路改良4路線、道路局部改良4路線が施工されています。道路維持管理事業では、ガードレール設置等6路線、道路維持修繕8路線、側溝整備11路線及び舗装工事16路線が実施されています。また、橋梁維持事業では、72橋の点検

が行われています。



改良された町道宮浦線

なお、県道改良事業等についても負担金を支出し、地域道路網の整備に積極的に取り組まれています。

次に、安全・安心なまちづくりでは、白岩上地区水中ポンプ設置工事など4件、河川改修事業7河川、災害防除事業3路線、昨年7月の梅雨前線豪雨及び8月の台風15号による被害に対する公共土木災害復旧事業として道路4件、

河川2件を施工されています。小災害復旧事業では、9件の復旧事業に対し補助金が支出されています。なお、本年1月に発生した豪雪に対しても、迅速な除雪作業が行われています。

また、県が事業主体となり実施した急傾斜地崩壊対策事業、港湾維持管理事業に対し負担金が支出されています。

また、住民が実施する地区内排水路事業に対し補助金を支出するなど、住環境の整備が実施されています。

次に、住宅等の整備については、町営住宅入居者の快適な暮らしを保つため、一般修繕、定期的な改修、環境整備等の事業を行い、住環境の向上と安全性の確保が図られています。

主な質疑を申し上げますと、町営住宅の入退去状況及び滞納状況はどうなっているかとの質疑に対し、退去数は14団地44戸、入居数は11団地32戸であり、滞納について

は、現年分に合わせて過年度分も徴収しており、過年度分については毎年減少してきているとの答弁がありました。

【上下水道課】

一般会計の浄化槽設置費助成事業では、52基の浄化槽設置に対し補助金が支出されています。また、飲料水供給施設整備事業では、2つの水道組合に補助金が交付され、衛生的な飲料水の確保が図られています。

【簡易水道事業特別会計】

本会計では、水道事業との円滑な統合のため、料金及び会計システムの改修をはじめ、小田浦国道3号配水管推進工事、管の布設替や施設の点検整備等が実施されています。

【農業集落排水事業特別会計】

本会計では、適切な施設管理と農業集落排水施設への接続促進に努められ、新規接続が33件あり、水洗化率は80・0%、前年度比1・2ポイント向上しています。

主な質疑を申し上げますと、農業集落排水に接続する

際、区域内で本管まで距離があり、接続費用が多額になる場合はどうするのかとの質疑に対し、施主及び町の負担が大きい場合は、状況に応じて合併浄化槽を設置してもらい、補助金を出して対応しているとの答弁がありました。

【生活排水処理事業特別会計】

本会計では、田浦地区及び湯南団地の浄化槽維持管理が主体であり、適正な管理に努められ、点検回数を直すなど、経費が削減されています。

【水道事業会計】

収益的収支及び資本的収支の説明があり、主な事業として老朽化した水道管布設替や管路図の電子化などが行われています。

今年度の経常利益と前年度からの繰越利益剰余金を合わせた全額を翌年度に繰り越すこととしてあり、繰越利益剰余金は、4,561万7,221円となっています。

主な質疑を申し上げますと、平成27年度の有収率が77・2%であるが、上下水道課の目標は何%かとの質疑に対

し、国の示す目標有収率85%を目指しているとの答弁がありました。

【商工観光課】

新たな商品開発事業では、国の地方創生交付金を活用し、「岬の御塩」を使った「黒糖塩飴」の開発のほか、特産品開発のための器具整備等が実施されています。

また、プレミアム商品券発行等の商工業振興事業補助、創業等店舗整備支援事業補助6件、特産品開発支援事業補助4件、設備投資資金利子補助事業3件などが実施され、商工業の振興が図られています。

また、企業誘致対策事業では、御立岬残土処理場へのメガソーラー誘致に取り組んだほか、労政対策事業では、ハローワークの求人情報紙を役場に配置するとともに、町ホームページでも掲載され、求人情報の発信に努められています。

観光振興対策事業では、各種イベントを催しながら、観光うたせ船利用促進事業をはじめ、町観光協会補助金や各種イベント実行委員会補助な

どの観光振興支援・助成事業が実施されており、総入り込み客数も前年度比1・6%増となっています。

芦北海浜総合公園及び、御立岬公園・物産館管理運営事業では、施設の適正管理に努められ、季節ごとのキャンペーンを実施するなど、集客が図られています。



整備された芦北海浜総合公園

主な質疑を申し上げますと、新たな商品について、販売先と消費者の反応はどうかとの質疑に対し、芦北産黒糖と岬の御塩を使った黒糖塩飴を開発し、塩商品を取り扱っている店舗で販売しており、味も好評で販売も順調であるとの答弁がありました。

また、うたせ船の利用促進

事業の内容はどのようなっているのかとの質疑に対し、1隻に対し半額の補助を行い、100隻、987人の利用があったとの答弁がありました。

【町有温泉事業特別会計】

温泉施設は、シャワー水栓の取り換えや配管洗浄など、利用者の入浴環境改善と利便性の向上に努められており、温泉施設の利用者数は、前年度比3・9%増の28万6,528人となっています。

【農業委員会事務局】

農業委員会では、農地所有者に対して利用状況調査を行い、耕作放棄地に対して農地の利用意向調査を実施するなど、耕作放棄地の抑制が図られています。

また、農業経営基盤強化促進事業により、農地の所有権移転及び利用権設定などを行い、農地の保全と活用の推進が図られています。

主な質疑を申し上げますと、農地問題の仲介についてどのような相談があったかとの質疑に対し、隣接地の荒廃による鳥獣被害等の問題や、農地への植林の問題など相談

があり、地元農業委員及び農林水産課と協議し、対応したとの答弁がありました。

【農林水産課】

農業の振興では、新たな取り組みとして、中山間地域における営農モデル構築、担い手確保、雇用創出などを目的とした、JAあしきた農業参入支援事業に対する助成をはじめ、昨年発生した台風15号等による被災作物、果樹及び畜産施設等の再建・修復に対し支援を行い、早期の経営再建が図られています。

その他、米の生産調整、経営所得安定対策交付金、選果機や光センサーの導入、芦北産素牛や繁殖牛購入費の助成、中山間地域等直接支払交付金事業、青年就農給付金、有害鳥獣被害防止等対策事業など、引き続き多岐に渡り事業が行われており、本町の基幹産業である農業の振興が図られています。

次に、林業の振興では、町有林維持管理事業のほか、間伐材生産経費の一部を助成し、優良な間伐材の流通促進と価格安定が図られています。

また、林業及び木材産業の活性化と定住促進を目的に、町産材を使用した木造住宅建設、新築13件、増築1件に対し補助金が交付されています。

間伐等促進事業では、健全な森林の育成を図るため、間伐作業に対し補助金が交付されています。

林道維持管理事業では、林道国見線外4路線の修繕等が実施されています。また、単町林道舗装事業では、赤尼田線外19路線の整備に補助を行い、コンクリート舗装が実施され、作業道機能の充実と車両通行の安全確保が図られています。

漁業の振興では、漁獲量の減少を改善するためにヒラメ、ガザミ、マダイ、クルマエビの放流事業が継続して実施されています。

なお、芦北町漁協では、マガキの養殖試験や販売事業にも取り組まれています。その他、町内中学生による、うたせ船の体験学習が行われ、地域漁業への理解が深められています。

漁港整備事業では、田浦・海浦・牛の水漁港補修及び修